

2023年10月12日

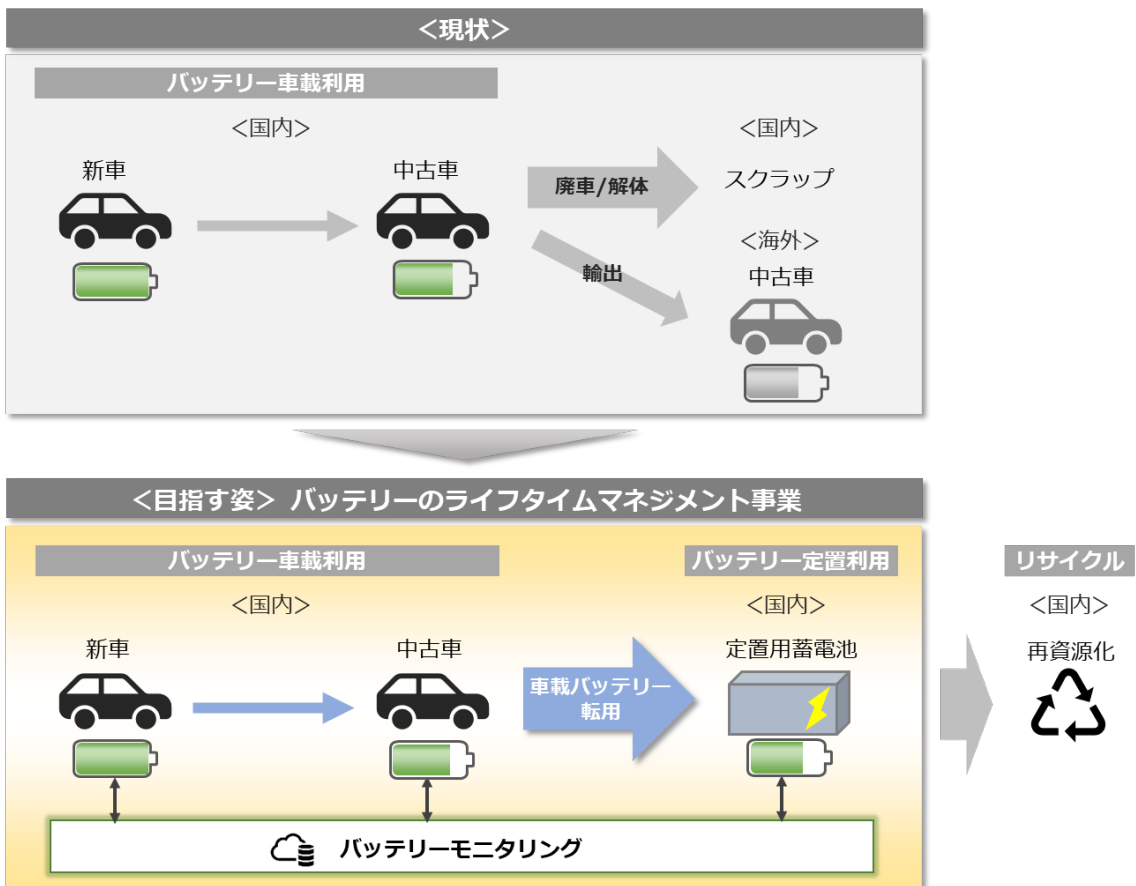
本田技研工業株式会社
三菱商事株式会社

Honda と三菱商事、EV 普及拡大を見据えた新事業創出に向けた覚書を締結

本田技研工業株式会社（以下、Honda）と三菱商事株式会社（以下、三菱商事）は、脱炭素社会における電気自動車（EV）の普及拡大を見据え、両社の強みを活かしたサステナブルなビジネスモデルの構築に向けて、日本における事業化検討の覚書を締結しました。今後、EV およびその車載バッテリーを通じたユーザーの利用価値向上を目指し、以下の事業化について協議していきます。

1. バッテリーのライフタイムマネジメント事業

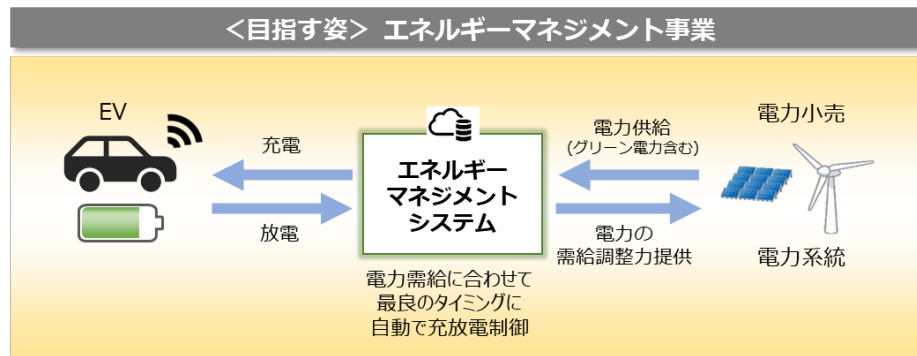
Honda から 2024 年より順次発売予定の軽 EV に搭載されるバッテリーを対象に、バッテリーモニタリング機能を高度化し、車載用から定置用への転用を通じてライフタイムマネジメントを行うバッテリー価値最大化への取り組み。



<期待される効果> ・バッテリー資源の有効利用 ・車両ユーザーの経済的負担低減

2. スマート充電^{※1}・V2G^{※2}を通じたエネルギーマネジメント事業

先進の制御技術により EV ユーザーの電力コストを最適化するスマート充電・V2G サービス・グリーン電力の提供。



<期待される効果> ・車両ユーザーの経済的メリット收受機会の提供（電気代低減など）

※1 スマート充電：電力の需給に合わせて EV の充電タイミングを自動制御する仕組み

※2 V2G (Vehicle to Grid)：電力網から EV への充電のみならず、EV に蓄えられた電力を電力網に供給する技術

■本田技研工業株式会社 取締役 代表執行役社長 三部 敏宏のコメント

「Honda は今後、本格的な EV の普及拡大期に向け、車両の販売だけでなく、バッテリーをエネルギー源として活用するエネルギーマネジメント、希少資源を多く含む車載用バッテリーのリユース・リパーパスを含むリソースサーキュレーションの実現に積極的に取り組んでいきます。今回の日本の軽 EV における三菱商事との取り組みを皮切りに、各地域のマーケット特性に合わせ、様々なパートナーと共に長期視点でのカスタマーバリューの最大化とサステナブルな事業基盤の構築を目指していきます」

■三菱商事株式会社 代表取締役社長 中西 勝也のコメント

「三菱商事は CASE/MaaS/カーボンニュートラルといった世界的な潮流に伴い、モビリティとエネルギー/サービス・データといった異なる産業セクターの融合が不可逆的に進展する中で、電動化と脱炭素化の両立に向けた新たなビジネスモデル構築を目指し、産業横断的な新たなサービスの創出等に取り組んで参ります」

【会社概要】

本田技研工業株式会社

設立：1948年9月24日

本社所在地：東京都港区南青山 2-1-1

代表者：取締役 代表執行役社長 三部 敏宏

事業内容：輸送用機器（二輪車、四輪車、汎用製品など）の製造、販売

三菱商事株式会社

設立：1950年4月1日

本社所在地：東京都千代田区丸の内二丁目3番1号

代表者：代表取締役 社長 中西勝也

事業内容：天然ガス、総合素材、化学ソリューション、金属資源、産業インフラ、自動車・モビリティ、食品産業、コンシューマー産業、電力ソリューション、複合都市開発の10グループに産業DX部門、次世代エネルギー部門を加えた体制で、幅広い産業を事業領域として多角的なビジネスを展開。